

第39回 土光杯 全日本青年弁論大会



土光杯受賞の喜びを語る小西沙紀さん
 7日午後、東京都千代田区内幸町の日本プレスセンタービル(酒巻俊介撮影)

土光杯全日本青年弁論大会
 行政改革に大きな足跡を残した故土光敏夫臨時行政調査会長の「行革の実行には若い力が必要」との呼びかけに応じてフジサンケイグループが昭和60年に創設。テーマはその後、拡大され、日本の将来を担う若者の主張の場として毎年開催される。



記念撮影に納まる受賞者と審査委員ら

土光杯

会社員 小西沙紀さん (29)

日本語を愛し国を守る

テーマ「激変する世界を生き抜く」

第39回土光杯全日本青年弁論大会(フジサンケイグループ主催、カートエンターテイメント特別協賛、岡山商工会議所協力)が7日開かれ、若者たちが熱弁を振った。大会のテーマは「激変する世界を生き抜く」。論文審査を勝ち抜いた10人のうち、最優秀賞の土光杯、優秀賞の産経新聞社杯、フジテレビ杯、ニッポン放送杯、故土光敏夫氏の出身地、岡山県にちなんだ「特別賞岡山賞」に輝いた5人の演題と要旨を紹介する。大会の様子は、産経ニュースの公式YouTubeチャンネル「ORRコード」で配信されている。

